

# 看護あきた

Nursing Akita

Vol. 137

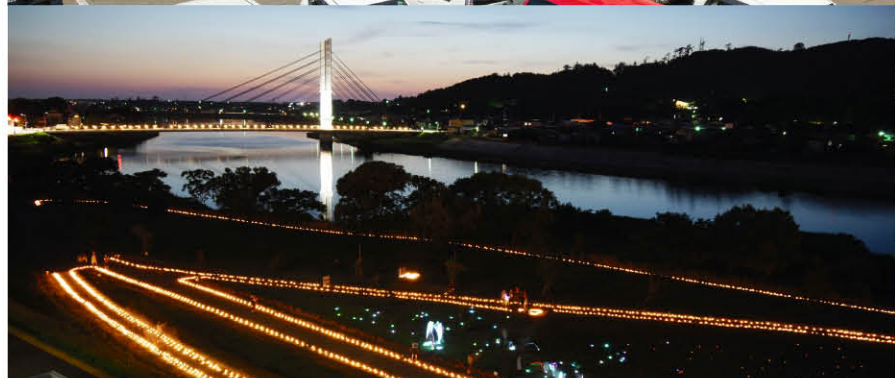
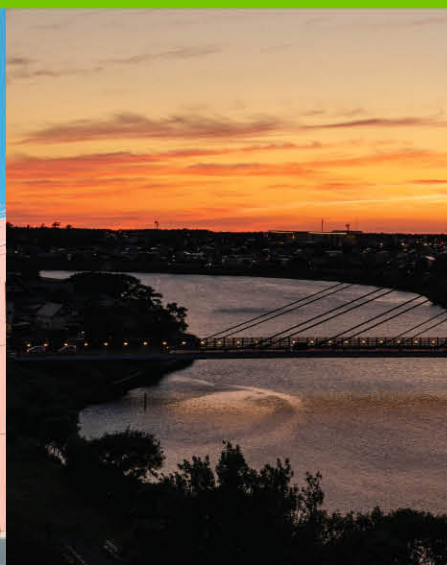
令和元年度 2号  
公益社団法人 秋田県看護協会会報

## CONTENTS

シリーズ 施設自慢	1
新人ナース紹介	2
地区支部活動報告	3
理事会だより・安全情報	5
事務局からのお知らせ	6
Nursing Now キャンペーン	7



# 施|設|自|慢



## ■本荘第一病院

看護部長 石川 みゆき

太陽の光を反射させて揺らめいている川の流れを、病院の窓からぼんやり眺めている患者様たちがいます。朝日が反射して眩しく銀色に輝く川面、夕日を浴びて黄金色に染まる川面、季節や時間で表情を変えながら日本海に流れる子吉川です。その子吉川のそばにある病院が本荘第一病院です。

病院設立者の故小松寛治は「癒しの川」と名付け、この河川環境を医療や看護に取り入れて実践してきました。河川環境で心理的な癒しを得ることで、闘病意欲、認知機能低下防止、生活習慣病の改善へのきっかけを得られればと利用しています。病院の裏にあるスロープから直ぐに河川に行くことができます。川辺を訪れ「ああ～気持ちいいね」と風を感じて喜ぶ患者、「今年も桜を見られたよ」と満開の桜を楽しむ終末期の患者、病気も入院生活も忘れるひと時です。誰もが心身を癒す空間となっています。

また河川環境を利用して、地域との交流も深めてきました。そのひとつのイベントとして「癒しの川キャンドルナ

イト」があります。河川敷に7000個の手作りキャンドル容器にキャンドルを入れ並べます。「灯そう愛の灯、つなげよう心の輪」をテーマに病院職員総勢で取り組んできました。命の大切さ、病気であっても今生きていることの幸せ、健康のありがたさ、家族への想いをキャンドルに灯しながら一緒に感じてほしいと始めました。今年で10回になり多くの方が足を運んでくれます。このイベントを通し、職員のやさしさを感じています。人と人とのつながりを大事にする職員がいます。

158床の小規模病院ですが、急性期・地域包括ケア、入退院支援、地域の健康管理、他に看護特定行為指定研修機関として新しい制度にも挑戦している病院です。職員一人ひとりが真面目に取り組み、「地域と手をつなぐ医療」を大切にしています。

職員が自分の職場を好きであることが、地域の皆様から愛される病院に繋がっていくと思います。「魅力ある職場づくり」にみんなで取り組んでいきたいと考えています。

# 新人ナース紹介



秋田赤十字病院  
柳澤 萌々香さん

小さい頃から身体が弱く、学生時代も患者として病院にかかることが多かった私が「看護師さん」と呼ばれるようになって半年が経ちました。始めは幼い

ころからの夢であった看護師になれた喜びと、厳しい医療の世界で命と向き合うことができるのかという不安が入り混じっていました。しかし最近では様々な研修を通して日々できる事が増えていく中で、看護師としての自覚が強まり、やり甲斐を感じています。

現在は主に脳神経外科の患者さんを担当しています。手術やリハビリテーションを通して、少しずつ身体機能が回復していく患者さんの姿から医療や看護の力を感じ、私自身も患者さんから勇気づけられている日々です。まだまだ未熟で分からないことだらけですが、病棟の先輩方から優しいフォローをいただき、少しずつですが患者さん一人ひとりの個別性に合わせた関わりができるようになりました。

入院中の患者さんにとって看護師は最も身近な存在であり、何気ない声掛けの一つが入院生活を明るくするという自分を自分が患者さんだった経験から学んでいます。これからも日々患者さんに対して笑顔で明るく接し、自分にできる最大限のケアができる看護師を目指してまいります。



かづの厚生病院  
藤田 愛恵さん

四月から看護師として働き始めて、先輩方から多くのことを学び、業務や環境にも慣れてきました。

新人の私でも患者さんのためにできることがあるという事を働き始めて感じています。看護師は常に患者さんの症状を観察し、緊急時には、観察力と判断力、そして知識が必要だと強く思い知らされました。そんな日々の中、患者さんから「藤田さんみたいな話かけやすい看護師さんがいいな。」「残念。もう仕事終わって帰っちゃうのね。」「ありがとう。」という言葉をもらいました。私はどんな患者さんでも常に不安があるものだと考え、少しでも長く患者さんの元で話を聞くよう心がけました。知識と技術は必要ですが、心のケアも同じくらい重要であることを学びました。

今後の目標は、知識と技術を身に付けて、患者さんと常に誠実に向き合い信頼される看護師になることです。患者さんが一番つらい事、一番伝えたいことは何かを考えながら関わっていきたくと思います。



雄勝中央病院  
熊谷 侑己さん

雄勝中央病院に入職し、約4ヶ月が経ちました。5階北病棟は脳神経外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科の混合病棟で、手術前後の急性期看護や、不穏・認知

症状がある高齢者看護、またターミナル期への看護など、様々な状態にいる患者様と関わらせていただきながら幅広い看護を学ばせて頂いています。

勤務始めの頃は、慣れない環境、たくさんの不安や分からないことなどがありました。ですがプリセプターさんを始め、病棟スタッフの方々にその都度丁寧に説明していただき、少しずつ自分で出来ることが増え毎日多くを学びながら、笑顔が絶えない職場で充実して働くことが出来ています。

私は患者様を全身状態からアセスメントし、状態に応じた確かな処置が行える看護師になりたいと思っています。今はまだ知識・技術が未熟で目指す看護は出来ませんが、日々患者様と関わらせて頂くことに感謝しながら、学習を深め目指す看護師へと成長していきたくです。



秋田県立循環器・脳脊髄センター  
栞山 葉月さん

看護師となって早くも4カ月経ちました。入職してすぐの頃は毎日の業務を行うことで精一杯でしたが、プリセプターさんをはじめ病棟の先輩方からの丁寧な指導をいただきながら少しずつ業務にも慣れ、働く

ことの責任や、やりがいを感じています。また日勤業務だけではなく、深夜・準夜業務も始まりました。複数の患者さんを受け持つため、全体に目を配りどのように自分は動かなければいけないのか、優先順位を日々考えながら業務を行うことの大切さも同時に感じています。疾患や症状だけを見るのではなく、患者さんの全体像を把握し、その人に合った個別性のある看護を行えるように努力していきたくです。

まだまだ技術や、疾患・検査などの知識が不足しているため学ぶ姿勢を忘れず、主体的に行動し多くのことを経験していきたくです。患者さんに寄り添い、安心感を与えられるだけでなく、小さな状態の変化に気づくことのできる看護師になれるように頑張っていきたいです。

# 地区支部 活動報告



## 鹿角 地区支部

鹿角地区支部 支部長 阿部真理子

### まちの保健室

5月25日マックスバリュ小坂店において開催し、「看護を地域住民に還元する」を目的に保健師・助産師・看護師が参加しました。血圧測定・体脂肪測定・肺年齢測定・健康相談など多数の方に参加していただきました。買い物に訪れた地域住民から運動・食事・持病などに対する不安や相談に対し適切なアドバイスに努めるなど健康増進活動へのPRの機会となりました。



### ふれあい看護体験

7月24日鹿角郡市内の3つの高校から15名の学生を対象に一日看護学生事業を実施いたしました。鹿角中央病院、大湯リハビリ温泉病院、かづの厚生病院のご協力をいただきました。病棟実習では患者様とふれあい、車椅子に乗り患者体験、手術室での手洗い実習などを行いました。院内見学では多職種との関わりを通しチーム医療の重要性を学ぶ機会が得られ、地域に貢献できる看護職を目指したいという感想が多く聞かれました。



## 秋田臨海 地区支部

秋田臨海地区支部 支部長 伊藤真紀子

### ふれあい看護体験

7月から8月にかけて、秋田市内の4施設で開催されました。中学生58名（秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院）、高校生63名（秋田赤十字病院、中通総合病院）が白衣に着替えて、充実した一日を過ごしていました。「患者さんの一番近くで寄り添い、支えてあげる看護師さんはすごく素敵な存在」と感想を述べ、関心と理解を深める機会となりました。



### 地区支部研修会

8月17日（土）「意思決定プロセスを支えるナースの役割」をテーマに、昨年に引き続き北海道医療大学名誉教授の石垣靖子氏を講師に開催されました。参加者は臨海地区支部外も含め約140名でした。講師は医療現場での「ことば」とその使い方は極めて重要であること。大事なことは医療を受ける人と医療者間の誠意あるコミュニケーションのやり取りである。ケアは「知」「技」「愛（心）」の正三角形で成立しており、どんな患者も病気を治してほしいと切望しているが、本当に見てほしいのは病気で苦しんでいる「この私」「生きている私」である。看護師は人間を見る専門職であり、ケアの担い手と説かれました。



## 湯沢・雄勝 地区支部

湯沢・雄勝地区支部 支部長 佐藤 友子

### ボランティア活動

8月3日夕方から、羽後町の特別養護老人ホーム「松喬苑」で夏祭りが開催され、西馬音内盆踊り保存会による盆踊りが催されました。当地区支部では毎年、施設入所の方々の会場への移送や見守りなどのボランティアを行っています。手拍子をしながら踊りを観る方々の笑顔が印象的でした。



### ふれあい看護体験

8月7日、地区内の中学2年生を対象に、2病院、1施設で「ふれあい看護体験」が行われました。中学校の教諭1名も白衣を着て生徒と一緒に体験に加わりました。体験後は新人看護師との意見交換やグループワークも行いました。また教諭の方々の協力のもと、感想文集も作成しています。生徒、教師ともに看護の仕事に少し触れることができ、進路を考える機会になったと思います。



# 理事会だより

## 第1回 令和元年5月17日(金)

### 【議事】

- 1) 令和元年度公益社団法人秋田県看護協会事業計画(案)について……………[承認]
- 2) 平成30年度公益社団法人秋田県看護協会決算報告(案)について(監査報告)……………[承認]
- 3) 秋田県看護協会通常総会プログラム及び議案の確認について……………[承認]
- 4) 固定資産の取得等について……………[承認]
- 5) 令和2年度秋田県看護協会通常総会の日程(案)について……………[承認]
- 6) 平成30年度末における特定資産の積立てについて……………[承認]
- 7) 「あきた がん ささえ愛の日」に関する賛助金について……………[承認]

### 【協議事項】

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 令和元年度秋田県看護協会通常総会の運営について
- 3) 秋田県看護協会通常総会進行シナリオについて
- 4) 地区支部集会の持ち方等について

### 【報告事項】

- 1) 令和元年度日本看護協会第1回理事会報告
- 2) 秋田県看護協会組織図

## 第2回 令和元年6月19日(水)

### 【議事】

- 1) 事業報告等について……………[承認]
- 2) 訪問看護ステーション職員業績手当の支給について……………[承認]
- 3) 令和元年度補正収支予算書(案)について……………[承認]
- 4) 地区支部委員の変更について……………[承認]

### 【協議事項】

- 1) 令和元年度秋田県看護協会通常総会について
- 2) 令和元年度環境・保健事業功労者知事表彰候補者の推薦について

### 【報告事項】

- 1) 令和元年度日本看護協会通常総会について

## 第3回 令和元年6月20日(木)

### 【議事】

- 1) 副会長等の役員の選定について……………[承認]
- 2) 会長臨時代理の選定について……………[承認]
- 3) 常務会の構成員の選任について……………[承認]

### 【協議事項】

- 1) 各理事の行事等担当について

### 【報告事項】

- 1) 令和元年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事・事業日程について
- 2) 秋田県看護協会事務局組織図等について
- 3) 令和元年度ふれあい募金事業に係る社会福祉施設等の選定について

## 第4回 令和元年7月17日(水)

### 【議事】

- 1) 認定看護管理者教育課程細則等の一部改正について……………[承認]
- 2) 「移植医療50周年記念募金」への寄付について……………[承認]

### 【協議事項】

- 1) 令和元年度秋田県看護行政懇談会について
- 2) 地区支部の強化について
- 3) 日本看護協会への要望について
- 4) 令和元年度秋田県看護協会通常総会課題等について

### 【報告事項】

- 1) 会長(代表理事)の職務執行状況報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 常務理事(業務執行理事)の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 令和元年度環境・保健事業功労者表彰候補者の推薦について
- 6) 2019年度地区別法人委員会・職能委員長会の開催について
- 7) 令和元年度職能・常任・特別委員会委員について
- 8) 令和元年度ふれあい事業社会福祉施設等贈呈先について
- 9) 子育て応援団「すこやかあきた2019」について
- 10) 公益法人の基礎知識
- 11) 公益法人の役員の権限と義務

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

Safety Information 

## 安全情報

No.24  
医療・看護安全委員会

抜粋：看護職賠償責任保険制度 医療安全情報  
日本医療機能評価機構 医療安全情報

セントラルモニターの送信機の電池が切れていたため、生体情報がセントラルモニターに送信されず患者変化に気づくのが遅れた事例が発生しました。

### 推奨している取り組み

- 送信機の電池残量やセントラルモニター画面の表示を意識して確認し、電池残量が少ないことに気づいた場合は直ちに電池を交換する。
- 継続して使用している送信機の電池は、曜日を決めて定期的に交換する。



# 事務局からのお知らせ

委員会主催事業の実施報告(6月~8月)

令和元年 **6/28** 金 13:30~16:00

## 准看護師への通信制2年課程看護学校進学支援

主催：看護制度委員会

准看護師を対象として、看護実践に活かせる情報を提供し、進学への動機づけを目的として開催した。カリキュラムなどの具体的な情報が得られて進学への励みとなったという声があった。

令和元年 **8/21** 水 13:00~16:00

## 災害支援ナース育成研修【実務編】

主催：災害看護委員会

災害支援ナースの登録に向け、災害支援ナースの役割・心構えなど体験者の生の声を聴いて、支援できるような力を付けたいという声もあった。



令和元年 **7/29** 月 10:00~16:00

## 保健師職能交流集会

主催：保健師職能委員会

秋田県内の保健師が所属や世代を超えて日常の課題等話し合い、交流することで保健師の専門性を確認し合う良い機会となった。

令和元年 **8/29** 木 10:00~16:00

## 助産師職能交流会

主催：助産師職能委員会

周産期メンタルヘルスの現状や課題について理解を深め、他院の情報を知ることができ、良い交流会だったという声が多かった。

令和元年 **8/17** 土 13:00~16:00

## 県民と集う訪問看護フォーラム

主催：訪問看護推進委員会

超高齢社会において病気になっても、自分らしく過ごしたいところで、安心して暮らすため、訪問看護等の24時間対応・ターミナルケア・看取り等について多くの県民に周知することを目的に開催した。事例などを聴き、参考になったという声が多く得られた。



令和元年 **8/31** 土 13:00~16:30  
(能代厚生医療センター)

## 看護師職能交流会

主催：看護師職能委員会

地域包括ケア構築に向けて、地域の在宅ケアの課題を共有すると共に、多職種がどのように連携し在宅ケアを支援していくかを考える機会となった。ワールドカフェにより活発な意見交換ができ、顔の見えるネットワーク作りの第一歩となった。



開催日時

令和元年

**11/8** 金  
10:00~15:30

## 第46回秋田県看護学会 ―支えつなぐ看護の未来―

- 会場：にぎわい交流館 AU 3階 多目的ホール・2階 展示ホール
- 特別講演
  - ・テーマ：認知症ケア最前線
  - ・講師：大阪大学大学院 医学系研究科 准教授 山川 みやえ 氏
- 対象者：会員・非会員・看護学生 300名
- 参加費：会員 3,300円 非会員 5,500円 看護学生 1,100円 (いずれも税込)
- 申し込み：事前申込みは終了しました。当日参加も可能です。

開催日時

令和元年

**11/22** 金  
13:00~16:00

## 看護職の就労環境改善のための研修

- 会場：にぎわい交流館 AU 4階 第1・第2研修室
- テーマ：働き方改革関連法と看護労働について
- 講師：社会保険労務士 関 徹彌 氏
- 対象者：医療機関、福祉施設関係者 50名
- 申し込み：お申し込みされた方は全員受講できます。受講決定通知は送付しません。

# Nursing Now キャンペーン

**Nursing now**

**看護の力で健康な社会を！**

日本看護協会は日本看護連盟と協力の上、Nursing Now 支持を表明し、グループを設立しました。また、キャンペーンに取り組むにあたり、都道府県看護協会とも連携しています。メインテーマ「看護の力で健康な社会を！」を掲げ、国内でのキャンペーンの認知度の向上に努めます。

## Nursing Now とは

ナイチンゲール生誕200年となる2020年に向け、看護職への関心を深め、地位を向上することにより、人々の健康の向上に貢献することを目的に展開されている世界的なキャンペーンです。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、世界保健機関(WHO)および国際看護師協会(ICN)の賛同の下、英国のチャリティ団体であるバーデット看護信託が事務局となり、世界的に広まっています。

世界では、保健医療制度や人々のニーズが大きく変化しています。看護職がこの変化に対応し、一層活躍するには、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことが重要であり、そのためのさまざまな条件や環境を整える必要があります。キャンペーンを通じ、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取組みの中心に立ち、人々の健康の向上に貢献できるよう行動します。

**Nursing Now : キャンペーン実行委員会**  
 出典元: 公益社団法人 日本看護協会  
[https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing\\_now/index.html](https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/index.html)



## 秋田県ナースセンターからのお知らせ

**求職・求人等看護のお仕事相談、まずは秋田県ナースセンターへご連絡ください！**

- 相談日 月曜日～金曜日、第2・第4土曜日
  - 相談時間 9:00～16:00
- 秋田アトリオンビル1F TEL: 018-832-8810



今年も各地で記録的な猛暑が続きましたね。いつしか暑さも和らぎ次第に肌寒くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
 昨年から引き続き広報委員会を担当していますが、委員一同でより良い魅力ある「看護あきた」を皆様に届けられるよう頑張っています。皆様からのご意見・ご感想をよろしくお願いします。

(記: 広報委員 小貫 孝輔)

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。